



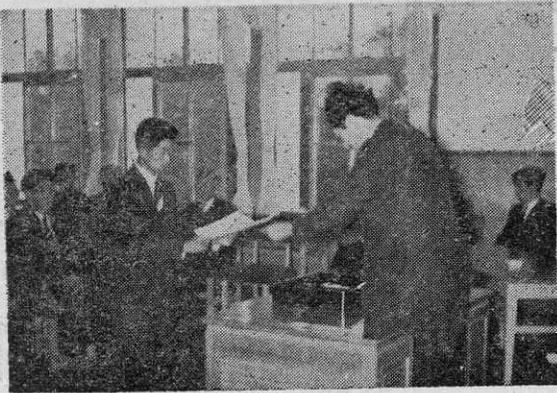
発行所 秋田県北秋田郡 秋川町 編集者 佐藤 一郎 印刷所 秋田県北秋田郡 秋川町 印刷部 TEL 4番 (1回発行部数2,350)

実習生の見た先進地の農業

洋菜で反収八十万円

多角経営で大成功

町では去る十二日、役場会議室で第二回内地留学農業実習生の修了式と報告会をかねた座談会を行なったが、この座談会には昨年の第一回実習生十名も参加、各々自分の体験などを発表し先進地の農業技術をこの町の農業にいかに取り入れるかについて真剣に話し合った。



【内地留学実習生の修了式】

向うの農業は、海抜五百メートルから千メートルの高低差があるが、普通農業が普通で、土地の条件は悪いがすべてが多角経営で水田よりもむしろ果樹や野菜の栽培が多かった。

七月一日〜九月三十日まで三ヶ月間第二回実習生として長野県松本市及び茅野町で農業技術を修得して来たのは工藤憲一(上杉)佐藤吉男(川井)沢藤正一(木戸石)小田良男(同)松岡利喜男(羽根山)三浦基一郎(三木田)御所野克己(鎌沢)など二十代の青年七名であるが、この日彼等七名の青年たちから報告された話を要約すると、先進地の農業状況とこの町に於ける農業の技術とを比較し、彼等がいちばん魅力を感じてきたのは洋菜の栽培で反収四十万〜八十万円程度

の収入があるといわれ、これらの洋菜は毎日定期的な東京や大阪、名古屋などの大都市の市場へ出荷される

町の農民祭

第二回農産物品評会

三日から北中学校で

(二部既報) 町内四農協連絡協議会では今年も昨年引続き「第二回合川町農産物品評会」を開催することになり、その準備を進めてきたが、このほど開催要領を決定しその細目を次のように発表した。

第二次酪農座談会

可能性ある地区を重点的に

町経済課では六月下旬の各地区で「第二次酪農座談会」を開催することになり、準備を進めるとともに地区内酪農経営希望者多数の参加を望んでいる。

と休みらしい休みはなく苦しいことは事実であり、この秋は乳牛、和牛、朝鮮牛が多いようで、馬を飼育している農家はあまりないやうである。また豚は割合に多く飼われているが鶏は少ないとのことであつた。

馬鈴薯 (五個) 甘藷 (五本) 黒いも (一升) 苗木 (一〇本) まゆ (一〇〇包) 真綿 (三〇枚) 葉タバコ (五〇枚) 俵(サンダワラ付) (二枚) 玉なわ (二個、但し三貫目のもの) みの類 (二枚) むしろ (二〇枚)

審査、内地留学生を囲んでの座談会、酪農講演会及び映画会、北小中学校芸術祭

あなたもぜひ縦覧を 選挙人名簿が作られます



津谷さん紅 一点の表彰 県国保振興大会で

選挙人名簿の縦覧 選挙人名簿の調製権者は選挙管理委員会となつていて、この名簿を一般選挙人の縦覧に供するといふことはとりもたず一般選挙人が調製手続きに参加する権利を有することである。

選挙人名簿の縦覧 選挙人名簿の調製権者は選挙管理委員会となつていて、この名簿を一般選挙人の縦覧に供するといふことはとりもたず一般選挙人が調製手続きに参加する権利を有することである。

